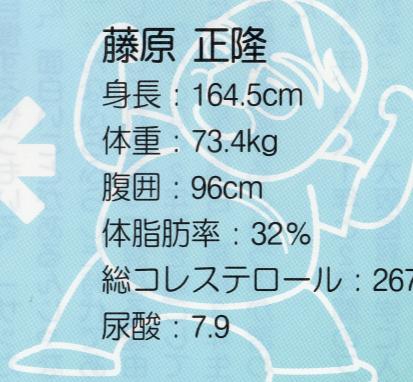


## 高橋裕子先生、 藤原内科を訪問！



### 院長、ダイエットに挑戦 目指せ！ケイン・コスギ

院長藤原正隆の理想の体型はケイン・コスギです。それに向けて日々努力中です。



ケイン・コスギ  
身長 : 181cm  
体重 : 77kg  
ウエスト : 72.5cm  
体脂肪率 : 6.9%

高橋先生の印象  
テレビや新聞でご覧になつた方もあるかと思いますが、高橋先生はとても美人な方です。あの笑顔で「タバコ、止めてみません?」と言われたら、少なくとも男性喫煙者は、「そ、そだな…。や、止めてみよっかな?」とつい言つてしまいそうです。甘いものがお好きと聞いたので、牛風庵のお茶菓子を用意し

から京都大学付属病院で禁煙外来をされるようになつた関係で、週に1回京都に来られることになったのです。そこで、一度遊びに来て頂けませんかとお誘いしたところ、快く私の申し出を聞き入れて下さい、平成13年6月7日、藤原内科を訪問して下さいました。

禁煙指導の第一人者として、全国的に有名な、あの高橋裕子先生が、藤原内科に遊びに来て下さいました。高橋先生とは、禁煙マラソンに関連した、臨床医療禁煙ネットというマーリングリストを通じて、親しくさせて頂くようになつたのですが、高橋先生が5月

から京都大学付属病院で禁煙外来をされて下さいました。語り口はどうでもソフトで、しかもきちんとポイントを押さえてお話しになります。「これこそ、「タバコを吸つて何が悪い!」とくつてかかるような喫煙者を、禁煙にもつていける極意だなど、改めて感心しました次第です。「天は二物を与える」と言つるのはウソです。高橋先生には一物、いや三物も四物も与えられているよう気がしました。

藤原内科では、近い将来、高橋先生にも講師として来ていただき、禁煙に関する健康教室を開きたいと考えています。お忙しい先生ですので、確約はできませんが、是非実現したいと思つております。ご期待下さい。



## 医療法人祥正会 藤原内科

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前診 9:00~12:30	○	○	○	○	○	○
午後診 5:00~7:00	○	○	/	○	○	/

TEL 075(781)0976 FAX 075(706)3181  
〒606-0864 京都市左京区下鴨高木町39の5  
e-mail in1021@poh.osaka-med.ac.jp  
URL http://web.kyoto-inet.or.jp/people/mf\_0618

### 藤原内科と電子カルテ (その2)

#### 近未来の診療所と病院の病診連繋

今回は、個々の診療所で医療情報を電子化することによって、地域全体としてどんなメリットが出てくるのかをお話してみましょう。

今までのカルテは、「一医療機関、一患者、一カルテ」ですから、患者さんのカルテは、医療機関毎にあります。例えば、Aさんは、「高脂血症」でB内科に、 「変形性膝関節症」でC整形外科に通っています。ある日、B内科の医師が高脂血症の経過をみるとために、Aさんに採血を勧めたところ、すでにC整形外科で先月採血をしてもうつ

ていました。結果を見ると、高脂血症の治療に必要な項目が抜けていることがわかり、結局、AさんはB内科でも採血を受けることになりました。2度も痛い思いをしたAさんもさることながら、今問題になっている医療費という点からしても、これは「重複診療」です。しかしC整形外科が「高脂血症」という病名をつけて、血液検査を行えば、その報酬はC整形外科に支払われます。しかもこれは違法でもなんでもありません。このような重複は検査だけではなく、投薬においてもあります。

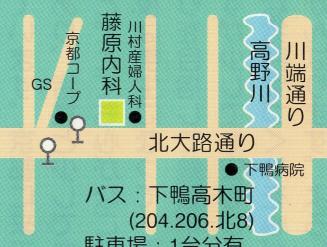
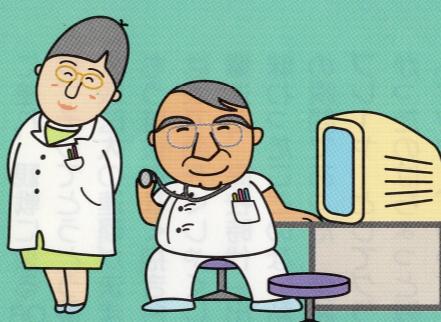
では患者情報の電子化によって、医療はどう変わるのでしょうか? 東京の新宿医師会で行われている、地区医師会レベルでの「ネットワークシステム(「ゆうネット」)」「一地域、一患者、一カルテ」方式)を例

にとつて考えてみましょう。  
新宿区のDさんは、胃の調子が悪くてE胃腸科にかかりました。E胃腸科の先生は診察の結果、胃カメラ検査が必要と考え、F病院へ紹介しました。本来なら、E胃腸科の医師がこと細かく病状を報告する必要がありますが、Dさんのカルテは医師会のメインコンピューターに保存されています。連絡を受けたF病院のG医師は、Dさんのカルテを医局のコンピューターで直接見て、診察所見、投薬内容や、検査の数値を確認できるのです。ここで大事なことは、G医師にカルテを見せるかどうかは、Dさんに決定権があり、カルテの公開、非公開の権利はあくまで患者さん自身が持っているということです。

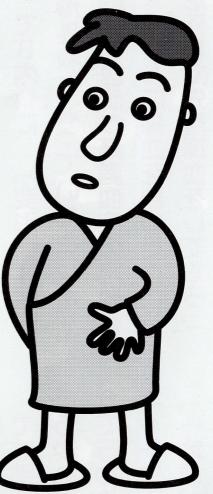
検査の当日、E胃腸科ではなく、F病院でG医師が操作する胃カメラの画面を「直接」見ることができます。これまでだと患者さんが診療所から紹介されて病院に入院すると、医療の中心は病院に移り、かかりつけ医は全くカヤの外でした。しかしこの新しいシステムでは、かかりつけ医もまるで病院のスタッフであるかのように、自分の紹介した患者さんの様子を知ることができます。それが、患者さんが無事に退院して、また診療所に通院するようになつても、スムーズに外来治療に移行することができます。

診療所では入院中の検査データも自分の診療所で行った検査と全く同じように参照できます。しかも一度検査をやり直す必要もありません。

患者さんとしても、自分の受けた治療が診療所と病院がチームを組んで行うシステムであるため、非常に安心感があります。それも地域の中のどの病院どの診療所でもチームを組めますから、自分で「この先生のところへ行きたい」と言うことができるわけです。かかりつけ医も、病院を紹介する場合、紹介した患者がどういふ治療を受け、どういう経過をとったか(うまくいかなかつた場合も含めて!)全て知ることができます。この手術なら、〇〇先生」といった確実な情報が得られるというメリットもあります。ある意味では双方向での医療の監視ができるわけです。いかがでしょうか? まるで夢のようなシステムに見えますか? でもこのような医療はもう手の届くところまで来ています。藤原内科では、このような新しい流れに積極的に取り組み、真に患者さんのためになる医療を目指していきます。ご期待下さい。



第4号で概要をお知らせしました  
藤原内科の人間ドックについて  
ほぼ詳細が決定しましたので発表します。



- ★ 1日で2つ以上のドックを受けることはできません。
- ★ ①京都市基本健診セットと他のドックおよびオプションの組み合わせはできません。
- ★ 組み合わせドックの割引は、最初に受けたドックから1年以内とします。2つ以上のドックを組み合わせた場合、2つ目以降のドックでは採血は行いませんが、ドックとドックの間隔が開いている場合で、採血を希望されるときには基本セットとして10,000円頂きます。
- ★ 藤原内科の人間ドックは、原則として藤原内科を受診したことのある方、あるいは受診した方の家族の方が対象となります。
- ★ 完全予約制。実施は本年9月を予定しています。

セット名/費用	内 容	検査項目	備 考
①京都市基本健診セット 2,300円	京都市基本検診+胃がん検診	診察、検尿、血液検査、心電図、胃透視。	但し、京都市在住の40歳以上の方に限る。 費用免除制あり。
②出張ミニドック 20,000円 *(21,260円)	ご希望の日曜日に院長がご自宅へ伺います。	基本セット(診察、検尿、血液検査) 心電図。	
③循環器ドック 25,000円 *(29,060円)	心臓、肺を中心にチェックします。	基本セット(診察、検尿、血液検査)、心電図、胸部レントゲン写真、肺機能、運動負荷心電図、心エコー。	オプションとして、ホルター心電図検査(土曜、日曜の2日間)
④消化器ドック(A) 40,000円 *(44,990円)	胃、十二指腸、肝臓、脾臓、胆嚢を中心にチェックします。	基本セット(診察、検尿、血液検査)、腹部エコー検査、胃透視/胃カメラ(どちらかを選択)	オプションとして、血液検査C、血液検査P。
⑤消化器ドック(B) 40,000円 *(41,500円)	下部消化管を中心にチェックします。	基本セット(診察、検尿、血液検査)、検便、注腸/大腸ファイバー(どちらかを選択)	原則として、消化器ドック(A)を受けられた方。

\*( )内は同一内容の検査をした場合の診療報酬

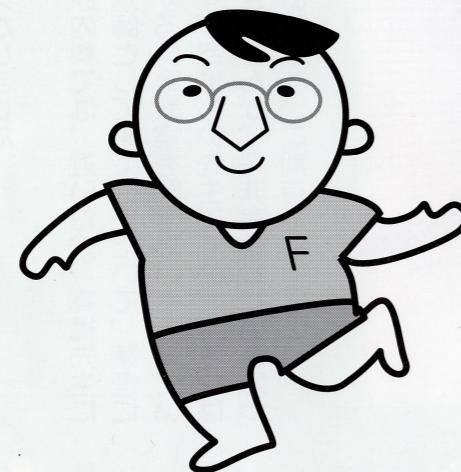
オプション料金

血液検査C(腫瘍マーカーセット) : 5,000円
血液検査P(胃癌スクリーニング) : 3,000円
糖負荷試験 : 10,000円
ホルター心電図検査 : 15,000円
骨塩定量検査(手根骨レントゲン撮影による) : 1,500円
禁煙外来 : 指導料2,000円+禁煙補助剤代金(必要な方のみ)
循環器ドック+消化器ドック(A) : 60,000円
消化器ドック(A)+消化器ドック(B) : 75,000円
循環器ドック+消化器ドック(A)+消化器ドック(B) : 95,000円
出張ミニドックを受けた後、他のドックを受ける場合 : 規定料金の10,000円引き



はじめまして。5月よりお世話をなっています。京都に来て間もないこともあり、皆様と少しでも言葉を交わすことでとても心がなごむ今日この頃です。夜は学生になつて、よりよい環境づくりを目指して勉強中です。こんな私ですが少しでも安心していただけるよう努めます。よろしくお願いいたし

新しいスタッフの紹介  
高橋 夕子(看護婦)



高校時代のサッカーには、実はあまり思い出はない。前回の中学校時代のサッカーでも書いたが、大会でも出ると負け、という繰り返しで、なかなかモチベーションを維持することは難しかった。友人の中には、他の女子校と合コンをした話とかを、さも得意げに自慢するやつもいる。「サッカー以外に、面白いことがあるんじゃないかな?」そんなふらりとした時代であった。しかしこれと書いて辞める理由もなく、なんとなく2年間を過ごしてしまった。(洛星の場合)高校3年生は一応受験に専念するというのが習わしだった。)

高校3年、浪人1年と2年間のブランクがあつたが、大阪医科大学に入学した私は、やっぱりサッカー部を選んでしまった。何か運動をしたいということもあつたし、サッカーも捨てきれないとものもあつた。また医学部のサッカーはレベルは高くないだろうから、「自分で活躍できるかも」という計算もあつたかも知れない。とにかくにも、入学式の日、先輩達に引っ張られて「こちらを食べに連れて行かれ、断ろうにも断れない状況に追い込まれ、私は大阪医科大学サッカー部の一員になつたのである。一応、中学高校と6年(正確には5年)サッカーをやつてきたので、ある程度やれる自信はあつたが、2年のブランクは大きく、体力が全然ダメであつた。また、

ワールドカップみたいなものであつた。私が1回生の時の神戸大会は、前年に初優勝した大阪医大にとっては、連覇のかかる大事な大会であった。夏の合宿になると、実習で忙しかつた6回生も、練習に参加されるようになつた。しかしまだ本当に答えることができない、そ

て過換気症候群に陥つた最後の夜も含め、今となつては楽しい思い出である。いよいよ西医体の本番が始まった。1回戦は順当に勝つたが、2回戦は大苦戦。先発で出してもらつていた私は後半に肉ばれを起こし、無念の交代。しかし私の交代で出た6回生のK先輩が、勝ち越しのゴールを決めて下さつた。そして準決勝、決勝と勝ち上がる

ます。

もともと体が硬いタチなので、よく怪我をした。先輩達からは「ガラスの藤原」と呼ばれたものである。(当時54kg)という体重であったが、今は...?) 医学部のサッカーの頂点は「西医体(西日本医科学生総合体育大会)」という大会である。これは各大学とも、大会前に合宿を張り、それなりに準備をして臨む大会で、いわば医学部の

んな雰囲気があった。合宿では、卒業後年数の浅い若いOBと一緒に参加された。普段見たことのないOBが、自分たちにとって神様のような6回生に厳しい檄を飛ばしている。何もわからぬ1回生にも、先輩達の並々ならぬ意気込みが伝わってきた。初めての夏合宿は体力のない私にとっては、かなり辛いものであったが、酒を飲まれ

に連れ、観戦に来るOBの数はつなぎ登り。そしてとうとう優勝のホイップス。大阪医大の連覇が決まった瞬間だった。もう誰となく抱き合つて喜ぶ。中に涙で顔をくしゃくしゃにしている先輩達も。高校時代「出ると負け」しか味わつたことのない私にとって、感動かったのはちょっと残念ではあったが、「サッカー、やってよかつた!」と心底思えたのもこの時であった。この優勝を境に、私は本当に「うまくなりたい」という気持ちで練習に励むようになり、自分のサッカー人生の中で一番「延びた」時期を迎えるのである。

